

令和 5(2023)年 3 月 24 日

いわくにバス株式会社

岩国市内におけるオンデマンド交通の実証運行について

○本件の目的

当社は本年 10 月より、一部区域で予約があったときのみ運行するいわゆる「オンデマンドバス」を運行したいと考えている。運行するためには地域公共交通会議で皆さまの同意をいただいた上で行政手続きを行う必要がある。

同意いただきたいことは主に下記となる。

- ・室の木台、桜ヶ丘エリアを中心としたもの
- ・運賃は 1 乗車 500 円
- ・車両は小型バス(いずれ普通車タイプに変更)

○運行計画概要

①対象エリア	室の木台・桜ヶ丘を中心とする。(別紙図)
②経緯	岩国駅～錦帯橋間は朝から夜まで毎時 3～4 本程度の多頻度で定期路線バスが運行されているが該当エリアを経由する系統は利用も少ないことから本数も少ない。コロナ禍以降は利用がゼロで運行する便も増えている。 当社は錦帯橋など主要バス停をご利用のお客さまの収益で全体の路線バスネットワークを維持してきたが、コロナ禍で収益も悪化し、その仕組みの維持は難しくなっている。 高台団地であり乗車機会を増やすことで利用ニーズはあると想定し、かつ効率的な輸送サービスを提供するためにオンデマンドサービスで運行を行いたい。 当エリアでの実績を踏まえて、当社沿線には同様のエリアが多数存在することから今後拡大を行いたい。
③対象バス停	当初は既存の路線バスバス停 その後、要望や調査を経て追加を検討
④運行開始日	令和 5(2023)年 10 月 ※後述の通り平日運行予定であることから 10 月 2 日(月)開始予定

○運行計画詳細

①運行会社	いわくにバス株式会社(当社の自主運営)
-------	---------------------

②運行の態様	一般乗合旅客自動車運送事業 区域運行
③運行形態	予約のある乗降場所間を効率的に運行 (岩国駅または西岩国駅(長時間停車できる箇所)を始発とし、発車時刻を定める予定)※形態は「デマンド型交通 自由経路ミーティングポイント型 基本ダイヤ型」となる予定
④運行経路	予約に基づきシステムが自動生成した経路を運行
⑤使用車両	小型バス車両(全長約 7m 全幅約 2.1m) (いずれ普通車タイプに変更)
⑥運行時間	平日のみ 9 時～16 時頃予定(年末年始等運休) ※朝夕など利用の多い時間帯は通常のバスも運行する予定(バス停は路線バスと共用)
⑦運賃 (1 乗車)	大人 500 円(小児、身障者半額 ※当社路線バスに準拠) 交通系 IC カード使用可能 ※敬老優待乗車証制度、タクシー料金助成制度は利用不可 ※その他のサービス(定期券等の割引乗車制度)は未定
⑧予約方法	インターネットまたは電話 ※予約は直前(発車○時間前まで等)まで受付予定 ※利用直前の会員登録でも利用可能 ※インターネットで予約の場合は到着予定などがわかる予定

○その他

テストの状況	サービス提供会社数社のデモをおこなった。 (わかったこと) ・大型車のルーティング(経路検索と実際の道路交通状況とのギャップ)は難しく、当初はすべてのバス停を使用できないと考えている。 ・路線バスの運転士にとり、「自由に移動していい」は難しい。(当初は専属の担当者が運行予定。その後新規採用などを検討するが運転士確保には時間を要すると考えている)
今後の見通し及び当社の目標	(今後の見通し) 概ね半年ごとにエリアを拡げていきたい。想定エリアとして、牛野谷、川西、横山、和木、南岩国。(南岩国駅は駅前広場整備を見据えて) 車両は置き換え時に 11 人未満車両の導入を行いたい。小型化することで柔軟な経路で走行できることでのバス停新設、スピードアップによる所要時間短縮が期待される。

	(当社の目標) 利用ゼロの便の運行を効率化することで対象路線の赤字を減らしたい。 先述の通り赤字路線の赤字縮小を企図しているが、この形態でも利用が少ないエリアからは撤退せざるをえない。(特に室の木台エリアはコミュニティバス(くるりん)が走る前はバスは走っていなかった) 岩国市において初めての事例となるのでノウハウを蓄積し、今後増えるであろう他の取り組みの参考としていただきたい。
宣伝周知	沿線の方に向けて効果的な方法で行いたい。 当初は既存のバスご利用のお客さまが対象と考えていることから、その方に向けて丁寧に利用案内を行いたい。 名称については「オンデマンドバス」の名称は高齢者にはわかりにくいので“予約制乗合路線バス”など日本語での表記を検討する

以上

別図:対象エリア(案)

赤丸:赤⇄赤、赤⇄黄、間の乗降可能

黄色丸:赤⇄黄、間の乗降可能 ※黄⇄黄はできない

